

そげっば通信 6月



●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

自治連・結いネットそげい・お宝伝承プロジェクト共催

曾慶市民センター
曾慶字神蔭32-1
☎ 0191-75-2244
FAX 0191-34-6630
Email: info@yuin
et-sogei.com

初の草刈交流会を開催



晴天の下、集合時点で40人を超える参加がありました。

6月4日、曾慶グラウンドと市民センター駐車場、曾慶農村公園の草刈と交流を目的に「草刈交流会」を開催しました。これは、曾慶自治会連絡協議会からの提案で、草刈の際に手打ちそばを提供したらどうかとのアイデアと忠魂碑の歴史を学習する機会を組み合わせたもので、初の試みでした。特に

動員をお願いした訳ではありませんでしたが、朝の集合時点で40数人の参加があり、そば打ちの特産品チームと合わせると最終的に54名の参加がありました。朝10時に曾慶グラウンドに集合し、スケジュールと人員の割り振り等を行いそれぞれ作業に入りました。1時間半ほどで片付けまでの作業が終了し、農村公園に集合。巨大な忠魂碑の前に学習会の会場を設定し、ブルーシートの上での座学形式で曾慶のお宝伝承プロジェクト代表の岩淵善朗さんが忠魂碑の歴史について調べ上げた資料を元に解説しました。大正8年に建立された忠魂碑は当時の渋民村で用地を取得し村内から義援金や寄付を募って建立したもので、かつての安全寺の山中にあった巨石を切り出し、延べ4000もの人が運んだとされており、その時の貴重な写真も資料で公開されました。講話の最後に「この忠魂碑は単なる慰霊碑ではなく悲惨な歴史を繰り返さないようにするための遺産として伝えていこう」と呼びかけました。



50名を超える参加者で見違えるようにキレイになりました。



巨大な忠魂碑の前での学習会で熱心に聞き入る参加者



腕を振った特産品開発チーム員の皆さん



↑お代わりを求めて行列のできる店に(無料ですが)



←ネギ、天かす、辛み大根をトッピングした絶品の冷しそばでした



↑講師を務めた岩淵善朗さん

市民センター「スマホ教室」を開催

スマホの便利な使い方を学習

昨年度初めて開催し好評だったスマホ教室ですが、今年度第1回目の教室を6月6日(火)に開催しました。午前と午後2回開催し、参加者は合わせて16名。今年度もドコモショップー関東店のスタッフを講師に迎えて、基本編の音声検索やマップの便利な使い方やを学びました。

第2回目のスマホ教室は9月8日(金)に開催します。一度受講した方でも参加可能です。毎回参加している方もいるほど、参加するたびに新たな発見があるそうです。スマホをどんどん活用し、日々の生活を豊かにしてみたいかがででしょうか。



て講師ねいなは参加者一人ひとりに指導が行われました。

曾慶地区福祉活動推進協議会で新入生に熊鈴贈呈

熊に気をつけて通学してね!

各地区推進協会の代表から子供たちに熊鈴が手渡されました。



5月31日、大東小学校の新入学児童21人(そのうち曾慶地区の新入学児童は1人)に対し、学区内にある3地区の福祉活動推進協議会から熊鈴が手渡されました。

推進協を代表して浜民地区の菊池会長が「皆さんが熊に会わないように熊鈴を準備しました。学校に通うときは鈴を付けてください」とあいさつ。熊鈴を受け取ったこどもたちは、「いい音が出て嬉しい。これからも毎日鈴を付けて学校に来ます」などとお礼の言葉を述べていました。

熊鈴は、大東小学校が開校した翌年から毎年新入学児童に贈られています。

春の剪定教室を開催

実地で剪定技術を学ぶ

6月21日、曾慶地区センター周りの植木を教材に剪定教室を開催しました。この剪定教室は結いネットそげいと曾慶市民センターの共催により毎年春と秋に開催しているもので、この日は地区内外から15人の参加がありました。

講師を務めた一級造園技能士の鈴木隆廣さんから剪定ばさみ等の道具の研ぎ方を教わった後は、センター周りの生垣のキャラボクやサツキ、曾慶グラウンド土手のツツジなどを教材に「樹木の形を見ながらハサミを入れること」などのコツを教わりながら、実践で研修しました。参加者の皆さんの2時間半ほどの作業で、地区センター周辺は見違えるようにスッキリしました。



手順れた様子でハサミを入れる参加者の皆さん

曾慶のお宝伝承移動研修

曾皆を身近に感じて研修



胆沢城跡歴史公園のシンボルとなっている築地塀の前で

6月12日、曾慶市民センターと曾慶のお宝伝承プロジェクトとの共催により「郷土の英雄曾皆の真実を訪ねて」をテーマに移動研修を行いました。最初に訪ねた「奥州市埋蔵文化財調査センター」では、坂上田村麻呂が造営した広大な胆沢城跡と発掘された埋蔵品や展示資料、学芸員の説明等から、アテルイやモシと同じ時代に朝廷軍と戦った「曾皆」を身近に感じることができました。

「えさし郷土文化館」では、江刺地方で早くから行われていた稲作などの産業の歴史などから、当時「蝦夷」と呼ばれていたような未開の地で暮らす人々ではなかったことなどを学びました。

●大東地域・学びの土曜塾

学びの土曜塾《夏休み編》

大東地域内の小学生を対象に、今年も「学びの土曜塾《夏休み編》」を開催します。私たちの身近にある「山」などの自然について学びます。この夏は夜の《特別編》「わくわく昆虫採集ナイトツアー」も開催します！どちらか片方の参加でも構いません。詳しくは、小学校を通じて配布するチラシをご覧ください。

《夏休み編》

- ◆日時…7月27日(木) 9:30～16:00
- ◆会場…市民センター
- ◆テーマ…「大東の自然(山)」
- ◆参加料…300円(保険料、おやつ代など)



《特別編》 ～わくわく昆虫採集ナイトツアー～

- ◆日時…7月29日(土) 18時30分～
- ◆会場…大東開発センター(興田市民センター)
- ◆参加費…無料

※ 詳細は小学校から配布されるチラシをご覧ください。

♪ジュニアスタッフ募集♪

市民センター職員と一緒に土曜塾の運営に携わっていませんか？中学生・高校生を対象に「ジュニアスタッフ」を募集します。

- ・保険料等として300円徴収します。
 - ・行き帰りは最寄りの市民センター発着のバスに乘車できます。
 - ・申込期限は7月14日(金)です。
 - ・お問い合わせ・申し込みは摺沢市民センター(75-2229)までお願いいたします。
- ※ ジュニアスタッフは《夏休み編》のみの募集になります。

お天のうせ

登米市の長沼ウォーキング

令和5年度2回目のウォーキングは、登米市の「長沼フートピア公園」を歩きます。2021年前期放送のNHK連続テレビ小説「おかえりモネ」にも登場したオランダ風車が魅力的なウォーキングコースと一緒に歩きましょう！

- ◆日時…7月14日(金) 9:00～15:00
- ◆定員…15名(定員になり次第締め切ります)
- ◆参加料…無料(昼食代等は自己負担となります)
- ◆申込期限…7月10日(月)まで
- ※ 詳しくはチラシをご覧ください



●令和5年度女性ふれあい学級

かわいいカエルを作ろう!

今年度の女性ふれあい学級では、「手作りワークショップ～かわいいカエルをつくろう!～」を開催します。初心者でも大歓迎!5月に東山の石と賢治のミュージアムでも講師を務めた足利千代子さんを講師に、分かりやすく習います。



- ◆日時…7月28日(金) 9:00～12:00
- ◆会場…曾慶地区センター
- ◆定員…12名(定員になり次第締め切ります)
- ◆材料費…300円 ※当日徴収いたします
- ◆申込期限…7月21日(金)まで
- ※ 詳しくはチラシをご覧ください

農機バンク

* 農業機械 “など”
ほしい人と知らない人の情報交換コーナー*



《売りたい》

- ①オート播種機(苗箱)②バインダー(ヤンマー/BE25/湿田タイヤ付/6角タイヤ)③ラクター(クボタ)④バインダー(ヤンマー/YB25/タイヤ良)⑤田植機(クボタ/2条/歩行型)⑥杭打ち穴あけ機(経約10cm)⑦溝切機(丸山/MKF340/歩行型)⑧コンプレッサー(日立/200V)⑨井戸ポンプ(テラダ製・新品)⑩粃精米機(丸七製作所/M2/原動機なし)⑪ディスクハロー(180cm巾)⑫ハーベスタ(ヤンマー)⑬米選(サタケ/GPA330/100V/デジタル計量器付)⑭金網製トレー(120×60×3cm)⑮芝刈機(ナショナル/EY2272/100V/電動)⑯管理機(クボタ/TR-6/6.2馬力)⑰餅つき機(フジコレーディング/MT-330/3升用/未使用)⑱ハロー(2m/クボタ/HMT2010BKA/24馬力に使用)⑲チェンソー(ヤンマー/YSK/400)⑳バインダー(クボタ/1条/タイヤ良)㉑耕運機(ヤンマー/YA90/セル付)㉒田植機(クボタ/1S600R/6条/ロータリー爪)

②《買いたい》

- ①小型トラクター②動力噴霧機 ③管理機 ※写真入りの最新情報は市民センターで閲覧できます。

そげいびと

⑭ 小山ケイさん (75) ~曾慶字暮坪~



子どもたちを

見守り続けて10年

毎日朝晩、暮坪のバス停でスクールバスから乗降する子どもたちの見守り活動を続けているという小山ケイさんからお話を伺ってきました。

見守り活動は、曾慶小学校が統合により閉校になった平成25年、当時の自治会長さんから推され、大東小学校のセーフティネットとして夫婦で活動を始め、今年で10年になりました。特別なことがない限り、毎日欠かさず愛犬チャオ(み)と一緒にバス停で朝夕、子どもたちの見送りと出迎えが日課となっているそうです。さぞ大変ではと思うと「大変だと思ったことはない。むしろこの活動で自分たちが助けられていると感じる」と2人で顔を見合わせ語ります。長年の見守り活動で、始めた頃の子供たちも成人を過ぎますが、今でも「声をかけられたり、卒業式の日には手紙をもらったりと嬉しいことが多い」とこれからも継続に意欲を見せます。以前県道の改良前は、商店で

もあった家の軒下すくをバスが走るような状態だったそうですが「道路端からお互い声もかけやすい」といまは家の立地に感謝しているようです。

夫婦二人三脚で

今後も健康で活動したい

常に笑顔を絶やさないケイさんは地元の老人ホーム等で介護職員として3年間働き、退職してからは民生・児童委員として6年、曾慶婦人会長としても9年もの間務められました。婦人会は後進にバトンタッチできなかつたことに悔いもあるようですが、9年は歴代会長の中でも最長。最後の大仕事を務め上げられた誇りも感じられます。

夫の東治さん(79)は千厩町出身。曾慶の大工さんに弟子入りしたことが縁で、ケイさんとは昭和44年に結婚し、4年前には娘さんたちから金婚式のお祝いをしてもらったといいます。東治さんも交通指導員として20年、消防団員として25年務められ、夫婦でさまざまな分野で地域のために尽くされてきました。

「2人とも後期高齢者になって、痛いところも増えてきたがお互いに助け合って生きていきたい」とケイさん。毎週金曜日に自治会で行っている百歳体操にも夫婦で欠かさずに参加し、健康管理にも余念がありません。町内に住む可愛い孫さんの成長も楽しみに、これからも夫婦二人三脚で子どもたちの見守り活動を続けていきます。

曾慶の人口と世帯数

令和5年6月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	27	35	27	62
2区	69	98	93	191
3区	55	69	79	148
4区	49	67	75	142
5区	65	78	70	148
6区	40	63	58	121
7区	29	42	41	83
13区	33	49	41	90
こはぎ荘	47	17	30	47
合計	414	518	514	1032
前月比	0	△2	△1	△3



曾慶百景
神蔭 みかげ

神蔭は5区の最北に位置し、曾慶地区センターや旧曾慶小・中学校、郵便局、安全寺などの公共機関や商店も集中していたことから、『曾慶銀座』と呼ばれていたこともあります。そもそも「みかげ」は花崗岩のことで「みかげいし」とも呼ばれます。露出している花崗岩が砂になって崩れているところも見られ、「岩手の地名百科」によると「神蔭」は「神仏の恵み」との記載もあり、安全寺や山神社もあり、意味深い地名です。